

が業務を行っていたという事態が生じないよう改正した。

○平成29年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 生活習慣病重症化予防事業は参加者が少なく、対象者のほとんどが既に医療機関で治療中とのことだが、事業として適正か。

答 糖尿病は、重症化して人工透析になると、日常生活に支障が生じるばかりか、1人当たり年間約500万円の医療費がかかる。保険者として費用対効果や医療費の抑制を考えると、事業は効果がある。

○平成29年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 特別養護老人ホームでは介護職の不足により、満床までの受け入れができない状況と聞かすが、市への相談はないか。また、待機解消に努めるべきではないか。

答 施設から相談は寄せられていないが、国・県の施策と連携し、市でも取り組んでいきたい。また、待機者数は例年200名前後で推移し、積み上がって増えていないため、

一定程度の待機者数解消に至っていると考えている。

問 認知症力フエ事業の今後について、認知症の方とその家族の交流や相談を増やしていくという方向性か。

答 本人やその家族の参加を増やしていきたいが、平成29年度の参加割合が34%と少なかった。今後とも、周知方法について研究していきたい。

決算審査特別委員会

委員7名で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審議とした「平成29年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。なお、委員の構成は次のとおりです。

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 高橋 弘行 |
| 副委員長 | 三宅 盾子 |
| 委員 | 加藤 誠一 |
| 委員 | 大河原 梅夫 |
| 委員 | 江川 直一 |
| 委員 | 二本柳妃佐子 |
| 委員 | 齋藤 博美 |

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会議録がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では16人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

安全対策

公共施設の現状と今後の対策 （市内野球場の現状と対策）

香川 宏行
（新政策研究会）

問 総合公園野球場の防球ネットを支える支柱及び基礎の部分について、東日本震災など頻発する地震により金属疲労やコンクリートにダメージはないのか。またどのような点検をしてきたのか。

答 昇降式であることから、利用状況に応じたネットの昇降を行っており、その際、支柱を含め全体的状態を確認している。

問 25年も設置から経過しているため、目視による検査だけでなく、打音検査等も必要ではないか。

答 専門業者による検査の具体的な内容は把握していないため、今後把握していきたい。

問 今年から軟式ボールが以前よりもより遠くへ飛ぶようになり、富士見球場ではレフト側へのホームラン数が増え、テニスコート脇の車に直接ではないが当たってしまう

可能性がある。ボールが人や車に当たらないよう、早急に対策が必要と考えるが、市の考えは。

答 防球ネットの新設には大規模な改修が必要になることから、外周フェンスに注意を促す看板を設置して対応している。

問 人に当たってからは遅い。何か対策は。

答 利用者のけがの無いよう、早めに安全対策を講じていく。

問 門井球場では住宅にボールが入ってしまうが今後の対策はどうか。

答 平成28年策定の公共施設等総合管理計画を踏まえ、他の球場を含め総体的に検討する。

問 球場自体の在り方を含め早急な対策をすべき

答 管理計画と合わせて慎重に検討していきたい。
○その他の主な質問
○ブロック塀への補助
○わらアートの復活